

1. 短期展望 (p.1)

①[ドル高＝円安傾向は継続]

前号(11月号)で述べたドル高＝円安転換の条件、つまり、「日本銀行のゼロ金利解除」と「米FRBの公定歩合下げ」が来年前半満たされそうにない。直近でのドル安は、これらの条件が新年早々にも実現するとの誤った観測により、クリスマス前の利益確定の動きが加速した短期的な動きと見る。

②[Gold 価格の動向に注目]

11月15日、南アフリカ、ヨハネスブルグの金コンファランスで、ロシア・南アフリカ・アルゼンチンの代表が、各国中央銀行が外貨準備に占める金の保有比率を高めるべきだ、との発言をして注目されている。

2. 展望①：アメリカ経済復活の鍵を握る 中東・イラク情勢 (p.3)

12月15日のイラクでの国政選挙は大成功であった。今後のイラク情勢の安定化の為に一つの鍵を握るのは、同国内多数派のシーア派に一定の影響力を持つイランとの関係であろう。また、ブッシュ政権がイランとの関係改善に動く場合、イスラエルの理解が不可欠である。ブッシュ大統領は、リカード党を離脱し、新党結成に動いたシャロン首相を全力で支えるであろう。

3. 展望②：ロシア・日本発、 金価格急上昇 (p.6)

金(Gold)価格は12月12日、538.50ドル/オンスと24年ぶりの高値をつけた。今回の金価格急騰の主な特徴は、①11月15日のロシア中央銀行幹部による金保有率の引き上げ発言が引き金。②東京商品先物市場での個人投資家の買いが今回の金価格の上昇をリード、の二つである。来年は、金(Gold)を軸に、世界情勢が大きく動く時代に突入する気配である。